



タクシー事業者による市長への陳情

などが示されている。市長は「市民本意で考え、柔軟に対応したい。来年4月からの実施で、売り上げ減の穴埋めをする制度を作る」と答えた。タクシー事業者の5社によると、「それぞれの会社によって異なるが、前年比で売り上げが1割から2割減った」とされている。

内容にもあったように、「雪舟くん」と「タクシー」を両方とも利用してもらえする方法を考えていく必要がある。例えば、「人口密集地（市街地）の75歳以上の人に共通チケットを配布すること」「ポイントカードの導入をすること」などの方法により、相互の利用促進を図ることができるのではないかという案もある。

最後に、前号にも掲載したが、利用者を増やすためには、共通エリアの見直しが課題となってくるであろう。将来的な本市の計画の中で道路の整備などを視野に入れ、共通エリアを拡大すること、そのためには、共通エリアを決める定義をまず整えなければエリアを確定することができない。共通エリアの定義づけを再度検討する必要もあると思われる。

共通エリアの定義づけ

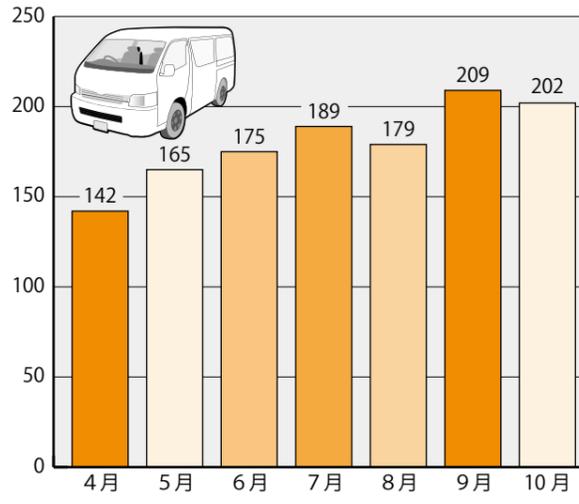
雪舟くん 総社市新生活交通

— タクシー事業者との共存共栄 —

低い共通エリア付近の利用率

1日当たりの「雪舟くん」の平均利用者は、左の表のとおり、運行を開始して以来、毎月徐々に増えている。運行を始めた4月の平均利用者は142人であったが、10月には202人になっており、60人増加となった。しかし、市が目標としている250人（1日平均）には届いていないのが現状である。

「雪舟くん」月別1日平均利用者数



前号の議会だよりで、利用率が低いため、「共通エリア付近を共通エリア内に入れることで利用者を増やすことができるのではないか」、また、「共通エリア内の地区は、目的の地が近く、その他の地区と比べた場合、利用料金の割合高感が懸念されるため、共通エリア内の料金の減額等を検討する必要がある」と指摘した。本格運行を開始してから半年以上が過ぎ、「雪舟くん」の利用者が順調に伸びている

反面、新たにタクシ-の利用者が減少したという問題も出てきた。前号にも掲載したように、共通エリア付近、つまり、市街地の人は「雪舟くん」を利用することがあまりないため、廃止されたタクシ-チケットのほうが良いかという意見も聞かれている。

タクシー事業者との共存共栄を考える

「雪舟くん」の運賃が1乗車1人300円でタクシ-と比べた場合、料金の差が大きいため、タクシ-利用者が減少している。そのため、平成23年10月6日に市内を走るタクシ-事業者5社が「総社市新生活交通「雪舟くん」の運行に協力するタクシ-事業者救済に関する陳情書」を、市長に提出した。

会社は市から委託料を受け取れるが、タクシ-乗務員は毎日の売り上げが賃金に反映されることから、タクシ-の利用促進と雪舟くんの運行との共存共栄のため、6項目の提案を示し陳情した。提案内容は、「雪舟くん」の利用料金の見直しをはじめ、「雪舟くん」繁忙時間帯でタクシ-を臨時便として活用、「いきいきチケット」をタクシ-利用でも使用可能にする

12月定例会市議会の予定

12月定例会市議会は、12月5日（月）から12月19日（月）までの予定です。地上デジタル放送の移行により、下記のとおり変更しています。

	従来	今後
録画中継	4ch	→ 11ch
生中継	13ch	→ 313ch (STBが必要)

アナログ放送の生中継(13ch)は引き続き行いますが、録画中継は行われません。機器の設定等については倉敷ケーブルテレビにお問い合わせください。

倉敷ケーブルテレビ フリーダイヤル 0120-021337

12月定例会市議会本会議を、倉敷ケーブルテレビの313チャンネルで午前10時から生放送します。

12月定例会市議会は、右の表のように予定していますが、正式な日程は11月下旬に行う議会運営委員会で決まります。決まり次第、313チャンネル(回覧板チャンネル)と市のホームページ(<http://www.city.soja.okayama.jp/>)でお知らせします。

なお、12月8日は午後4時ごろまでの開催予定ですが、その他の日については一般質問・質疑の多少により変更となる場合がありますので、前日にお尋ねください。

12月定例会市議会の予定

日時	内容
12月5日	開会
12月8日	一般質問
12月9日	一般質問・質疑
12月12日	質疑
12月19日	閉会

問い合わせ
議会事務局 Tel 92-8332